

令和元年度水道事業決算状況

令和元年度の決算状況は、総収益が6億9,314万円で対前年度比0.8%の減、総費用が6億6,873万円で対前年度比1.8%の減であり、当年度は2,441万円の純利益となりました。

◆収益的収支 (水道水を皆さんのもとにお届けするための費用)

(単位：万円)

収 益				費 用			
区 分	元年度	30年度	比 較	区 分	元年度	30年度	比 較
1 営業収益	5億 525	5億1,379	▲ 854	1 営業費用	5億7,215	5億8,253	▲ 1,038
①給水収益	4億8,851	4億9,542	▲ 691	①一般管理費(注1)	2億5,281	2億6,430	▲ 1,149
②その他	1,674	1,837	▲ 163	②減価償却費	3億 763	3億 539	224
2 営業外収益	1億8,789	1億8,489	300	③資産減耗費	1,171	1,284	▲ 113
①受取利息及び配当金	1	1	0	2 営業外費用	9,636	9,839	▲ 203
②他会計補助金	6,373	6,442	▲ 69	①支払利息	9,236	9,833	▲ 597
③長期前受金戻入	6,912	7,064	▲ 152	②その他	400	6	394
④引当金戻入	4,950	4,976	▲ 26	3 特別損失	22	27	▲ 5
⑤その他	553	6	547				
合 計	6億9,314	6億9,868	▲ 554	合 計	6億6,873	6億8,119	▲ 1,246
				当年度純利益	2,441	1,749	692

(注1): 「一般管理費」には施設の電力費や修繕費用、人件費などが含まれています。

◆資本的収支 (水道施設を造るための費用)

(単位：万円)

収 入				支 出			
区 分	元年度	30年度	比 較	区 分	元年度	30年度	比 較
1 出資金	1,997	1,923	74	1 建設改良費	3億2,557	2億5,389	7,168
2 国道補助金	4,840	3,727	1,113	2 企業債償還金	3億1,895	3億1,071	824
3 工事負担金	598	246	352	3 国道補助金返還金	128	-	128
4 企業債	2億9,910	2億5,270	4,640				
合 計	3億7,345	3億1,166	6,179	合 計	6億4,580	5億6,460	8,120

資本的支出額が収入額を上回っている分2億7,235万円は、前年度からの繰越金と本年度の費用のうち現金支出が伴わないもの(減価償却費など)で補っています。

※「資本的支出」は、支出の効果が次期以降に及び将来の収益に対応するものになります。具体的には、水道本管の布設などの建設工事等が資本的支出であり、公営企業会計では、これに企業債償還元金等を加えたものとなります。また、これら建設工事等に充当される国や道からの補助金、工事負担金、企業債(町の会計でいう「町債」)等が「資本的収入」となります。

◇貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

(単位：万円)

資産の部		負債の部	
固定資産	76億9,273	固定負債	46億1,706
有形固定資産	76億7,263	企業債(注4)	46億 556
土地	8,097	引当金(注5)	1,150
償却資産(注2)	126億2,912	流動負債	3億4,699
減価償却累計額	▲50億3,746	企業債(注4)	3億3,171
無形固定資産	2,010	未払金等	1,055
流動資産	3億1,074	引当金(注5)	473
現金預金	2億 11	繰延収益	11億9,504
未収金等(注3)	1億1,063	負債合計	61億5,909
		資本の部	
		資本金	17億8,046
		剰余金	6,392
		資本剰余金	276
		利益剰余金	6,116
		減債積立金	220
		当年度未処分利益剰余金	5,896
		資本合計	18億4,438
資産合計	80億 347	負債・資本合計	80億 347

(注2): 「償却資産」は、「建物」・「構築物」・「機械及び装置」等、資産の取得価額の総額です。

(注3): 「未収金」には、4月に集金することとなる3月分の料金等が含まれています。

(注4): 「企業債」(町の会計でいう「町債」)の残高は、1年以内に償還するものは流動負債、それ以外のものは固定負債へと分かれています。

(注5): 「引当金」も、1年以内に支出するもの(賞与)は流動負債、それ以外のもの(修繕用積立)は固定負債へと分かれています。

令和元年度末の借入金残高は、49億3,726万円で、給水人口一人あたりにすると、およそ27万5千円になります。